

安全データシート

作成:2006年 5月 1日

改訂:2022年12月 1日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KH062-06
製品名 : パットフルエースLジャンボ
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

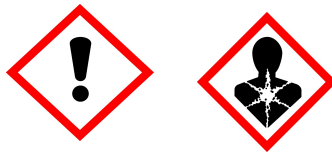
健康に対する有害性
発がん性 : 区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)

環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性) : 区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・発がんのおそれ
- ・眠気又はめまいのおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、免疫系、腎臓)の障害
- ・水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急処置】

- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：3-[1-(3,5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]-3,4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1,3-オキサジン-4-オン／一般名：オキサジクロメホン
 (RS)-2-(2,4-ジクロロ-m-トリルオキシ)プロピオンアニリド／クロメプロップ
 メチル 2-[(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)オキシ]-6-[1-(メキシイミノ)エチル]
 ベンゾエート／一般名：ピリミノバックメチル
 メチル=α-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイルスルファモイル)-o-トルアート
 ／一般名：ベンスルフロメチル

成分及び含有量：	オキサジクロメホン	1.6%
	クロメプロップ	14.0%
	ピリミノバックメチル	1.8%
	ベンスルフロメチル	2.0%
<その他>	シリカ(二酸化ケイ素)	1.0%
	鉱物質微粉、界面活性剤 等	79.6%

化学式： C₂₀H₁₉Cl₂NO₂／オキサジクロメホン
 C₁₆H₁₅Cl₂NO₂／クロメプロップ
 C₁₇H₁₉N₃O₆／ピリミノバックメチル
 C₁₆H₁₈N₄O₇S／ベンスルフロメチル

官報公示整理番号： 化審法 (1)-548 シリカ(二酸化ケイ素)

CAS No.:	153197-14-9	／ オキサジクロメホン
	84496-56-0	／ クロメプロップ
	136191-64-5	／ ピリミノバックメチル
	83055-99-6	／ ベンスルフロメチル
	7631-86-9	／ シリカ(二酸化ケイ素)

4. 応急措置

- 眼に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。
- 吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。汚染された衣類や保護具を取り除く。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。
- 飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- 適切な消火剤：水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器
- 使ってはならない消火剤：特になし

消火活動上の注意: 燃焼又は高温により有毒なガス(硫黄酸化物、塩素化合物、アンモニア等)が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項: 飛散、流出した製品が、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意: 取扱いは換気のよい場所で行い、粉塵、ガスのこもり易い場所では取り扱わない。漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。製剤は吸湿性があり、濡れた手で触ったり、雨が当たったりしないようにする。

火災・爆発の防止: 通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意: 直射日光が当たらない乾燥した冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。湿気が入らない様にして保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度: 設定されていない。

許容濃度: シリカ TLV-TWA 0.025mg/m³ ACGIH(2010年)

設備対策: 取り扱いについては、密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。

保護具 呼吸用保護具: 防じんマスク

保護手袋: 保護手袋(ゴム手袋)

保護眼鏡: 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

保護衣: 作業着、帽子、保護服

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 類白色粒状 水溶性パック入り
臭い	: データなし
pH (10倍希釈液)	: 9.4(参考値)
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限/可燃範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 0.40(参考値)
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分係数(log値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: 粒径5.0mm

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の保管環境下で安定

反応性	: 加水分解(酸、アルカリと加熱)、加熱(160℃以上)によりアンモニアが発生する
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット(♂ ♀) LD ₅₀	2,000 mg/kg 以上
急性毒性(経皮)	: ラット(♂ ♀) LD ₅₀	2,000 mg/kg 以上
急性毒性(吸入:ガス)	: データなし	
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし	
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギ	軽度の刺激性(洗眼効果あり)
呼吸器感作性	: データなし	
皮膚感作性	: モルモット	感作性なし
生殖細胞変異原性	: データなし	
発がん性	: シリカとして発がんの恐れあり	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: ピリミノバックメチルとして麻酔作用	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: シリカとして臓器(呼吸器系、免疫系、腎臓)の障害	
誤えん有害性	: データなし	

12. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC ₅₀	776 mg/l (96時間)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC ₅₀	1,000 mg/l (48時間)以上
藻類	: EC ₅₀	2.41 mg/l (72時間)
残留性/分解性	: データなし	
生体蓄積性	: データなし	
土壤中の移動性	: データなし	
オゾン層への有害性	: データなし	
その他	: 除草剤であり、植物に影響がある。	

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ秤量し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類	: クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ
国連番号	: 3077(環境有害物質、固体)
国内規制	
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 道路法の規定に従う。

15. 適用法令

